

ハーモニー

Harmony

第73号 2017年6月10日発行
日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学養護教育講座
後藤研究室

TEL&FAX:0566-26-2491

振替口座:00880-8-86414

<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp>

目次

2017年度学会事業について……………	1
2017年度の委員会等の活動について……………	2
第25回学術集会へのお誘い(第3報)……………	3
私の県の「ここが特色」⑱……………	4
「私の実践と研究」リレー・レポート⑳……………	5
トピックス……………	5
パブリックコメントの意見募集……………	6

2017年度助成金研究経過報告……………	6
2018年度「研究助成金研究」の募集……………	6
学会誌第21巻第2号の投稿論文の募集……………	7
2016年度理事会議事録(要旨)……………	12
事務局より……………	12
編集後記……………	12

2017年度学会事業について

理事長 後藤ひとみ

今年度は第Ⅶ期理事会の3年目の年となるため、1年目に掲げた活動計画の実現と次期につなげていく活動の準備が必要となります。特に、これまでの2年間は「養護教諭関係団体連絡会」(本年4月の会則改正によって日本養護教諭関係団体連絡会と改称)の幹事団体として、1年目当初の計画にはなかった活動に取り組んできましたので、その中から見えてきた課題を新たに加えて、養護教諭を冠した学術団体としての社会的責務を果たしていきたいと思えます。

2015年度は中央教育審議会の教員養成部会やチーム学校部会の検討内容に対して、2008年に本学会が中心になって設置した「養護教諭関係団体連絡会」の取組みを生かして、同連絡会の再結成を行い、文部科学大臣への要望書提出、パブリックコメントにおける連絡会としての共通意見の提出などに時間をかけてきました。2016年度は2015年12月21日に提示された中央教育審議会の3答申に基づく関係法令の改正が検討されることを受けて、教育職員免許法や教育公務員特例法の改正、教員育成指標の作成などに養護教諭のことも位置づけられるよう連絡会での検討と文部科学省担当課

(健康教育・食育課と教職員課)への要望などを重ねました。2015年度の取組みは、日本養護教諭教育学会誌第19巻第2号(2016年3月発刊)のp.114～p.128に、2016年度の取組みは、同誌第20巻第2号(2017年3月発刊)のp.88～p.107に掲載してあります。この中には本学会や連絡会が提出したパブリックコメントへの意見や文部科学大臣への要望書などを掲載していますので、本学会の活動に加えて連絡会の活動を知る資料となっています。これらの取組みの甲斐なく、改正教育職員免許法に基づく省令改正で「養護に関する科目」の特段の改正は行われない見込みですが、2017年度中に「養護教諭育成支援事業」が複数件委託される予定であり、その成果をもとに検討を進めていくこと、今後も協議の場を持つことが4月に行った文科省担当課の両課長との話し合いの場で確認されています。

さて、昨年10月の総会で承認された2017年度の事業計画は、①第25回学術集会(石川県)の開催、②学術集会におけるプレコングレスの開催、③研究助成金研究の選定と助成、④投稿奨励研究の選定、⑤学会誌第21巻第1号と第2号の発刊、⑥機関誌ハーモニー第73号から第75号の発行、⑦第Ⅷ期理事の選挙と役員の変更、⑧「養護教諭の倫理綱領」第13条に掲げた養護実践基準の検討、⑨日本養護教諭関係団体連絡会の取組

みの推進と養護教諭の資質能力に関する諸課題の改善、⑩広報活動及び他機関との情報交換の10項目です。このうち、理事会では⑧の養護実践基準の検討を進め、⑨では「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集〈第二版〉」の改訂作業を進めています。いずれも会員の皆様のご意見を集約し、意見交流を重ねて成案にすべきものですので、第25回学術集会及び2017年度総会では中間報告をさせていただくことになるかと思いません。従来通り、検討内容は学会HPやハーモニーでご報告し、意見募集などを行いますのでご協力の程をお願い致します。

なお、1年目に掲げた活動計画の中で十分に進捗していないものについては、2017年度総会での提案を予定して準備を進めています。具体的には、会則・実施細則などの諸規定の改正、養護教諭教育の理念を支える学術的な枠組み（例えば、一般演題の区分から学問の構造へ発展など）の検討、養護教諭の実践と養成と研修をつなぐプログラムに基づく学会の活動（例えば、学術集会での企画、プレコンgresの内容、学会誌やハーモニーの特集など）の系統的で計画的な実施、養護教諭が直面している課題への最新情報の提供です。少しでも成果を上げ、次期へとつなぎ、本学会の発展に努めてまいりたいと思います。今年度も会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



2017年度の委員会等の活動について

1) 学会活動委員会

学会活動常任理事 三木とみ子

今年度の学会活動委員会の活動計画は以下の通りです。

1. プレコンgresの企画と実施

プレコンgresは毎年学術集会時に開催しており、今年度は2017年10月金沢学会初日午前に開催します。テーマは「今、あらためて養護教諭について考える(仮)」を予定しています。ふるってご参加ください。

2. 養護教諭の専門領域の用語に関する解説集の見直し

・見直しの趣旨：第二版は、中央教育審議会答申、学校保健法の改正など学校保健の動向が大きく変化したことを受けて見直し、2012年10月1日に発刊しました。その後4年経過し、学習指導要領及び重要な中央教育審議会答申が相次いで示され、時代の変化に合わせた見直し作業が必要と考えます。そこで、会員向けの調査を実施し、広く意見を募りながら作業に取り組む予定です。

・見直し作業過程

- ①会員対象に見直したい用語及び新規に追記したい用語の意見募集（6月）実施
 - ②会員の意見をもとに新しく追記したい用語及び現行用語の定義及び解説等の見直し作業の実施
 - ③総会時に中間報告予定
- 会員の皆様の積極的な意見を頂きたいと思います。

2) 学術担当の活動

学術担当常任理事 鈴木 裕子

学術担当は、河田理事（金沢大学）、塚原理事（新潟青陵大学）と鈴木との3名で、研究助成・投稿奨励にかかわる業務や、会員の研究支援、学術集会実行委員会との連絡調整、養護教諭の専門性を支える学問構築に向けた一般演題区分の検討などの活動を行っています。第23回（熊本）と第24回（北海道）の学術集会では研究方法等に関するワークショップも担当しました。熱心なご参加をいただきありがとうございました。

一昨年度から、本学会が幹事団体を務める「日本養護教諭関係団体連絡会」は、文部科学省の担当課に対し、養護教諭免許取得のための科目や単位数の見直しを要望し、話し合いを重ねてきました。しかし、残念ながら今回の改正は実現しない見込みです。この経過のなかで、養護教諭独自の専門領域に関する学問の必要性について

対外的に十分な理解を得ることの難しさを痛感しました。将来に向けて、学会員のための活動と並行して、学問構造の検討や、その理念をふまえた具体的な内容の検討といった学術的な活動、社会への啓発などをより積極的に行っていく必要があります。会員の皆様のご理解・ご協力をいただきながら進めていきたいと思っております。

3) 編集委員会

編集担当常任理事 齊藤ふくみ

1. 2016年度の編集活動から

2016年度の活動は大きく2点挙げられます。1点目は、学会誌第20巻第1号と第2号発刊、機関紙ハーモニー第70号、第71号、第72号発行です。そして2点目は会員に対して「査読者リスト作成のための調査」を実施したことです。

学会誌第20巻は、本学会にとって学会誌創刊20年目を迎える節目となりました。同第1号の特集「日本養護教諭教育学会誌の20年の功績と養護教諭教育の未来」では4名の方々にご執筆いただき、同第2号の特別企画「故杉浦守邦氏を偲んで」では、杉浦先生自身のご遺稿を掲載することができました。執筆者各位に心よりお礼申し上げます。また、投稿論文につきましては、同第1号と第2号合計10本の投稿をいただきました。2016年度の特徴として、十分推敲されて投稿されている論文が多くなっていることが挙げられます。それに伴い投稿論文受付後の査読業務がスムーズに進みました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

次いで「査読者リスト作成のための調査」については、想定よりも少ない人数の調査協力ではありましたが、ご回答された方の本学会誌編纂へのご支援の気持ちを知ることができました。これまでの査読者の累積資料とともに、本調査結果を活用させていただいております。今後とも査読のご協力を賜りますようお願いいたします。

2. 2017年度の編集活動について

2017年9月末発刊予定の第21巻第1号の特集は「養護教諭がつかさどる『養護』のコア」とし、準備を進めています。この特集により、本学会が目指す養成教育・研修・実践の方向性が見いだせることを願っています。

また、今期の課題である投稿規定の改定作業は、10月開催の総会に向けて準備しています。さらに投稿論文の種類についての解説文作成も検討しています。

第VII期編集委員会も任期残り1年となりました。会員の皆様には、論文投稿、査読のご協力、ハーモニー

原稿ご執筆等多くのご協力をいただいております。会員の皆様が手に取り読んでいただける質実（学術・実践）ともに充実した学会誌編集に努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

第25回学術集会(金沢)へのお誘い(第3報)

学会長 河田 史宝(金沢大学)

さわやかな季節を迎えました。会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

日本養護教諭教育学会第25回学術集会を石川県「金沢大学自然科学本館」で開催致します。

北陸地域で開催することは初めてですので、新潟、富山、石川、福井県の皆さんと共に実行委員会を組織し、準備を進めております。

今回の学術集会は「養護教諭のキャリア形成を考えるー学び続ける教員像の実現に向けてー」をメインテーマとしました。養成・教育行政・学校現場のそれぞれにおいて、養護教諭の資質能力の形成に係る教育・研修がなされています。教職生活の生涯にわたり、学び続ける養護教諭像の実現に向けて、円滑に連携・協働していくためにはどのような方策があるのかを一緒に考え、深め、今後の連携を図る機会にできたらと考えています。

皆様のご参加はもとよりご発表を、心よりお待ちしております。

<ご案内>

1. 期 日

2017年10月7日(土) 12:40~18:00

10月8日(日) 9:00~15:30

○プレコンgres(学会活動行事)

10月7日(上) 9:30~11:30

(予約なしで誰でも参加できます。)

2. 会 場

金沢大学・自然科学本館1階

〒920-1192 金沢市角間町

「金沢大学自然研前」のバス停で下車

3. メインテーマ

「養護教諭のキャリア形成を考える

ー学び続ける教員像の実現に向けてー」

4. 後 援

金沢大学、金沢市教育委員会、石川県教育委員会、富山県教育委員会、新潟県教育委員会、石川県学校保

健会、福井県教育委員会、石川県養護教育研究会、福井県養護教諭研究会（申請中：富山県養護教諭研究会、新潟県養護教員研究協議会）

5. 内容

【10月7日（土）】9：00～受付

開会行事 12：40～13：00

学会長講演 13：00～13：30

「養成機関での学びを深める

—現職養護教諭、教育行政との連携—」

特別講演 13：40～14：40

「一步先ゆくチームマネジメントの考え方

—経営者の立場から—」

ChatWork 株式会社・代表取締役社長・山本敏行氏

シンポジウム 14：50～16：50

「養護教諭のキャリア形成を考える

—学び続ける教員像の実現に向けて—」

コーディネーター：後藤ひとみ

（日本養護教諭教育学会理事長、愛知教育大学・学長）

シンポジスト：学校現場・教育行政・養成関係者等

学会報告 実践基準中間報告

[懇親会]

期 日：10月7日（土）18：00～20：00

会 場：KKRホテル金沢（兼六園の近くです）

懇親会費：6,500円

○会場まではシャトルバス（無料）を準備しています。

【10月8日（日）】9：00～受付

一般口演・ポスター発表 9：20～11：30

総 会 11：40～12：40

ランチョンセミナー 12：50～13：50

ワークショップ 14：00～15：30

①「養護教諭の倫理綱領から養護実践を考える（仮）」

②「組織を動かす危機管理（仮）」

③「論文、実践研究の書き方、まとめ方（仮）」

●ワークショップ終了後、15時45分に自然研バス停から金沢駅直行バスを準備しています（1人500円）。

6. 一般演題（口頭・ポスター）の募集

1) 演題申込締切：6月30日（金）必着

【演題申込URL】

<https://jp.surveymonkey.com/r/2017yogo-guide-endaimoushikomi>

2) 抄録原稿締切：8月9日（水）必着

7. 参加費

会員5,000円（9／8まで事前振込は4,500円）

会員外5,000円、学生（社会人大学院生除く、抄録集込）2,000円、抄録集のみ2,000円（送料込）

【参加申し込みURL】

<https://jp.surveymonkey.com/r/2017yogo-guide-moushikomi>

8. 問合せ先

金沢大学人間社会研究域学校教育系河田研究室内

<日本養護教諭教育学会第25回学術集会事務局>

連絡先：TEL：076-264-5607（河田研究室直通）

E-mail：yogo2017aki@gmail.com

9. 学会HP

<http://jayte25.site>

私の県の「ここが特色」⑨

養護教諭への期待と広がる活動の場

貞島千加子（主幹教諭・さが養護教諭研究会会員）

佐賀県では、複雑・多様化する子供たちや教職員の健康課題の解決に向けた養護教諭の取組みが期待され、現在、教育行政に5名の養護教諭が携わっている。平成26年度からは養護教諭の主幹制度も新設され、4名が「主幹養護教諭」として勤務し、活動の場が広がっている。

本県では、昭和60年度から僻地の小中学校や定時制高校も含む全学校に養護教諭の完全配置が進み、子供たちの健康づくりに取り組んできた。第7次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画（第6次公立高等学校教職員定数改善計画）の完全実施年度を待たず、平成10年度には、大規模校に養護教諭が複数配置される等、諸先輩方の努力や教育委員会の理解により、養護教諭の配置が進んできた。

更に、平成16年度からは、「繁忙期加配」という新しい制度が新設された。必要な学校には、定期健康診断等の忙しい時期の3か月間、養護助教諭が配置され、平成27年度には48校に配置されている。この制度により、忙しい時期でも子供たちへ細やかな対応ができるようになった。

また、平成20年度から教職員課に健康管理担当が新設され、教職員の健康実態に応じた健康づくり事業を行うために2名の養護教諭が配置された。現在、その事業は、教職員の健康保持増進のみならず、子供たちの健康づくりにつながる保健活動として推進されている。

平成26年度からは、念願であった教育センターへの養護教諭の指導主事の配置が実現し、養護教諭の研修

の機会も増え、子供たちの健康保持増進に向けた事業や新しい施策の企画立案が行われている。

この他にも、児童相談所に養護教諭1名が配置される等、多くの養護教諭が教育行政に携わることとなった。そのことにより、視野を広げ学校保健を捉えることとなり、多角的に教育活動を考える機会を得ている。

平成27年度から配置された養護教諭「主幹制度」においては、管理職の補佐を行いながら、学校教育の課題解決には心身の健康づくりの意識を高めることが重要であることを教職員に理解してもらうよう、不登校対策や教職員の負担軽減対策、若手教員、養護教諭の育成の中で取り組んでいるところである。

今後も、子供たちの健康課題の解決と健康づくりの輪を地域に広げて行くために、平成26年度には、若手養護教諭を中心とした自主研修会「さが養護教諭研究会」が発足した。年6回の研修の場を活かし、更に、活動の場を広げていきたいと考えている。

「私の実践と研究」シリーズ・レポート②

養護教諭研修会によるネットワークづくり

橋本 節子（佐賀女子短期大学）

佐賀での「全国養護教諭研究大会」（文部科学省主催）を終えた平成24年4月、高等学校の養護教諭から佐賀県唯一の養護教諭養成機関である佐賀女子短期大学で養護教諭養成に携わる生活が始まりました。

養成に関わり、佐賀県教育委員会の依頼を受けて実施する養護教諭認定講習会や新規採用者の校内研修での指導をして知ったのは、公的研修の機会の減少と地域の養護教諭や年齢を超えた養護教諭間の交流機会が少なくなっていることでした。

そこで、養護教諭の指導主事や指導主事を経験した者が集い「校種、地域、年齢の垣根を超えたネットワークづくりのための研修の機会をつくっていききたい」、「困ったときにはいつでも相談できる環境づくりが必要」と思う気持ちが一致し、佐賀女子短期大学を会場にして研修会を開催することとなりました。

平成26年1月から2か月に1回の研修会を開始し、本年11月の開催で12回目を迎えました。特に研修会の開催で配慮したことは、次のようなことでした。

①研修のテーマを設定する。

養護教諭が課題として考えることが多かった「救急

処置法」をテーマに設定し、視聴覚教材を利用した情報の提供と協議の場をつくる。

②交流の機会となる時間を設定する。

各回のテーマをもとに実践交流し、課題の共有化を図る。

③研修会の企画、運営ができる人材育成する。

実行委員になった人が自ら成長の機会とするために、小・中・高等学校・特別支援学校の校種の違う養護教諭で開催準備を行い、メンバー間の交流を促す。

④開催日程、会場を固定する。

開催日は、第4土曜日の午後に設定し、大学を拠点会場としての周知ができるような体制を整備した。

⑤参加しやすい設定を行う。

休日で家庭がある人や遠方から参加する人が参加しやすい、土曜日の13:30~16:00に設定し、終了後も交流時間を確保できるようにした。会費も出席時の資料代のみで運営し、年2回の講師招聘による研修会が開催できる状況となった。

現在、校種を超えた交流の輪が広がっており、今後、このネットワークが子どもの健康づくりを支える校種を超えた連携につながっていくことを願っているところです。

トピックス

報告書

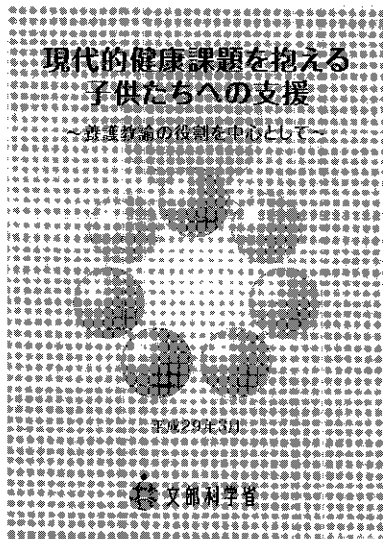
「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」の発行

理事長 後藤ひとみ

2016年7月に文科省に設置された「これからの養護教諭・栄養教諭の在り方に関する検討会議」に置かれた「養護教諭ワーキンググループ」において検討した内容が表題の冊子として3月付でまとめ、5月1日に公表されました。これは、中教審答申によるチームとしての学校づくりを意識し、児童生徒の現代的な健康課題（肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加、性に関する問題のほか、時代の変化とともに新たに生じる多様な健康課題。この他、心身の不調の背景にいじめ、児童虐待、不登校、貧困などの問題が関わっているもの）について、養護教諭に期待される役割を中心に、管理職や学級担任等の全ての教職員が、学校医、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッ

フと連携して行う取組みについて示したものです。文科省のHP（下記URL）からダウンロードできます。インターネットに表題を入力すると検索できます。是非、ご覧ください。

http://www.next.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1384974.htm



＜パブリックコメントの意見募集＞

2017年6月25日締切りで、下記2件のパブリックコメントが出ています。本学会としての意見をまとめたいと思いますので、ご意見のある方は、6月20日（火）午後5時までに学会事務局までEメールにてお知らせください。

理事の意見とも合わせ、学会からの意見を準備したいと思います。

なお、個人の意見提出が可能ですので、下記HPからの提出をお勧めします。

「教職課程コアカリキュラム案」について

2017年5月27日付けで、文部科学省初等中等教育局教職員課から「教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会」による上記案への意見募集が行われている。
<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=185000902&Mode=0>

「小学校学習指導要領、中学校学習指導要領の改訂に伴う移行措置案」について

2017年5月26日付けで、文部科学省初等中等教育局教育課程課から上記案への意見募集が行われている。
<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=185000901&Mode=0>

2017年度助成金研究経過報告

「養護教諭の複数配置に関する養成機関での授業モデル研究」

鈴木 薫（就実大学）

山崎 隆恵（北海道教育大学）

斉藤ふくみ（茨城大学）

この度は、2017年度学会研究助成金研究として本研究を採択していただきまして、誠にありがとうございます。採択にあたっては、研究目的に合致した「テーマ」と「研究計画」にするという条件をいただいております。このことにつきましては、理事の皆様方にご助言をいただきまして、誠にありがとうございました。当初予定していた「テーマ」を表題のように修正し、「研究の目的と独自性」も養成機関での授業に特化して、研究を進めようとしているところです。

児童生徒の心身の健康の保持増進や課題解決に向けて、養護教諭には学校組織の一員としての教育力の推進が求められています。また、新規採用時に複数配置校に着任するケースもあります。私たちは、学生たちが複数配置のねらいや実態などを知り、今後の在り方を考える機会を養成教育で検討する価値があると考え、現在研究を進めているところです。

学会員の皆様のご理解とご支援を、今後ともよろしくお願い申し上げます。

2018年度「研究助成金研究」の募集

学術担当常任理事 鈴木 裕子

本会では、養護教諭教育に関する研究の発展を目的として、会員の特色ある研究に対して一件10万円を助成する制度を設けています。対象研究は申請に基づき年2件以内を選定します。選定基準等は学会ホームページまたは学会誌第20巻第2号でご確認ください。助成を受けた研究は、研究成果報告として学術集会での発表および日本養護教諭教育学会誌への投稿をしていただきます。

2018年度の申請は、学会ホームページから申請書をダウンロードして研究計画等を記入し、2017年9月10日（日）までに、下記の学術担当理事までメール添付で送信してください。養護教諭教育の充実に向けて積極的な申請をお待ちしております！

<申請先>

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1
国士舘大学文学部 鈴木 裕子
(学術担当常任理事)

E-mail:suzukiyu@kokushikan.ac.jp

また助成金とは別の制度として、今年度も規定に基づき学術集会での発表の中から「投稿奨励研究」の選定を予定しています。10月に金沢で開催する第25回学術集会の一般発表演題が対象となります。査読費用7,000円が免除されますので、特に日ごろの研究成果を論文にまとめたいとお考えの現職養護教諭の皆様、是非ご発表をお願いします。

学会誌第21巻第2号の投稿論文の募集

編集委員会委員 山崎 隆恵

本学会誌は2011年度の第15巻より年2回発刊となり、年々会員の皆様からの投稿論文が増えてまいりました。養護教諭や養護教諭を目指す人が、互いに学び合い成長していく糧となる学会誌を目指しております。会員の皆様が課題意識を持って取り組まれた実践や研究を投稿していただくことに、編集委員会として喜びとやりがいを感じながら編集作業を進めています。

また、前号の査読者リストに関する調査についてご協力をいただき感謝申し上げます。査読者の裾野が広がり、学会誌の今後の発展に結びつくと思えます。

本学会誌は、年2回(9月末と3月末)発刊しています。投稿原稿の受付は、毎年9月末に発刊される第1号への掲載論文は3月31日(消印有効)、毎年3月末に発刊される第2号への掲載論文は9月30日(消印有効)です。来る第21巻第2号(2018年3月末に発刊予定)への掲載を希望している会員の皆様は、2017年9月30日が投稿期限となっていますので、ご準備ください。なお、9月末よりも早めに投稿していただくと、査読や修正に十分な時間がとれ、受理・掲載がスムーズに進みます。編集委員会では、よりよい論文となるよう査読と修正を繰り返す場合がありますので、会員の皆様にはご了解をいただき、ご協力をお願い致します。

ここ数年の編集委員会において、研究論文であるという観点から指摘されていることを紹介します。論文作成過程においてご留意いただけたら幸いです。①文献検討が不十分である、②明確な課題(問題 p.125~p.130)抽出がないため研究目的が明確でない、③妥

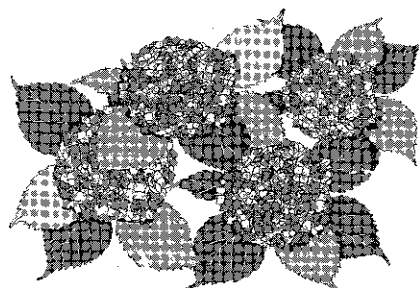
当な研究方法が使用されていない、④論旨に一貫性がなく不明瞭である、⑤本学会の倫理綱領に則っていないなどです。なお、学校現場の実践に即した論文への期待があります。

投稿される際には、投稿規程および投稿原稿執筆要領(第20巻第2号をお読みいただき、十分に推敲した原稿をご投稿ください。また、投稿時のチェックリスト(同p.131)をご使用いただくことで、確認ができるようになっております。

皆様の論文投稿を心からお待ちしています。論文の投稿によって学会誌に積極的にご参加ください。

<編集委員会事務局>

〒310-8512 水戸市文京2丁目1番1号
茨城大学教育学部保健教室
斉藤ふくみ
TEL/FAX 029-228-8298(研究室直通)
E-mail:fukumi.saito.naru@vc.ibaraki.ac.jp



2017年6月10日

会員各位

日本養護教諭教育学会
選挙管理委員会 委員長 中下 富子

日本養護教諭教育学会役員選出の名簿登録の確認について（お願い）

皆様にはご健勝のことと存じます。

さて、選挙管理委員会ではすでにハーモニー第72号にて役員を選出について告示しましたが、このたびは「選挙有権者名簿」及び「被選挙権者名簿」を公表し、会員の皆様が正規に登録されているかどうかの確認をしたいと思っております。

名簿は所属ブロックごとの五十音順で記載してあります。

つきましては、下記の要領で会員一人一人が名簿を確認し、異議や訂正がある場合には、下記の学会事務局宛に書面（FAX・E-mailを含む）で2017年6月30日（金）必着にて申し出てください。

受理したものについては、「確かに受理した」旨の返信を差し上げますので、申し出たにもかかわらず返信がない場合には、恐れ入りますが再度ご連絡ください。また、同日までに申し出がない場合には、この名簿が認められたものとしします。

- 1 選挙有権者は、2017年4月20日現在で2016年度の年会費を納入済みの会員とする。
被選挙権者（理事の有資格者）は、2017年3月31日現在、引き続き3年以上会員であった者とする。
名誉会員及び賛助会員・団体会員は、選挙権及び被選挙権ともにないものとする。
- 2 会員の所属ブロックは、原則として2017年5月31日現在の学会事務局登録の勤務先または在籍校の所在地とする。または、このいずれでもない場合は自宅所在地とする。
各都道府県の所属ブロックは以下のとおりである。

北海道・東北……………北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東……………茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
中部……………新潟、富山、石川、福井、静岡、長野、愛知、岐阜、三重
近畿……………滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫
中国・四国……………岡山、広島、鳥取、島根、山口、徳島、高知、愛媛、香川
九州……………福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

- 3 異議・訂正例
(1) 氏名、所属ブロックに誤りがある。
(2) 選挙権・被選挙権があるにもかかわらず名簿に氏名が登録されていない。
(3) 選挙権・被選挙権がないにもかかわらず名簿に氏名が登録されている。

- 4 連絡先 〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
愛知教育大学養護教育講座 後藤研究室
日本養護教諭教育学会事務局内 選挙管理委員会
TEL/FAX: 0566-26-2491 E-mail: JAYTEjimu@yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp

日本養護教諭教育学会「選挙有権者」及び「被選挙権者」の名簿（案）

○所属ブロック（勤務先の所在地。勤務先がない場合は自宅所在地。）ごとの五十音順。
 ○下記の人選挙有権者（現会員のうちで2016年度会費を4月20日までに納入した人）である。
 ○氏名の前の※は被選挙権者（2014年度からの現会員）を示す。
 ○氏名の後の数字は会員番号を示す。

<北海道・東北>

※赤木光子 86	柏谷董 1523	※菅原優子 1067	※成田みどり 240
※新井猛浩 228	※加藤尚子 259	※鈴木晃子 1014	※西塚雅菜 1463
※新谷ますみ 724	※金井穂子 1525	※鈴木木翔 1493	※西村奈緒美 1015
※新飯嶋亮子 1497	※金谷香子 1214	※住吉美保 934	※西端谷有紀子 1482
※家坂玉緒 1405	※賀谷あゆみ 823	※関谷啓子 1193	※濱端美奈子 844
※石山志央子 1513	※菅野由紀子 395	※高田幸子 435	※原郁水 1368
※一條由美 1109	※木下紗希 1512	※高橋晃子 629	※播磨優子 1514
※今野洋子 290	※木村七瀬 1528	※高橋雅恵 1281	※久野真澄 1336
※入野駒一美 384	※京谷梨菜 1524	※高田美喜子 1328	※久菱ゆゆう 876
※入岩田礼子 990	※桑野三千代 365	※竹本礼子 914	※古野桂子 219
※上野美冬 1406	※小菅光恵 637	※多田淳子 403	※細川牧子 954
※遠藤巴子 192	※小後藤花菜 1521	※只野喜代美 40	※堀丸ちづ子 46
※遠藤瑠生 1220	※小小堀杏子 1504	※只館田乙女 1363	※堀岡里香 706
※及川千幸 869	※小小山ゆかり 431	※田中亜紀 1362	※三面上純子 437
※大久保牧子 393	※小小木綾 890	※田中優子 769	※三面澤和子 446
※太田和江 1069	※佐々木奈緒 749	※田葉雅子 417	※毛内允子 1465
※大場祐雄 1487	※佐々木原和子 674	※千田百合子 1532	※盛昭子 39
※小岡典子 237	※佐藤朱美子 1295	※角田詩織 1522	※森山より子 1066
※小小堤立子 868	※佐藤藤子 901	※照内井藤沙裕 949	※山崎隆子 122
※小野美保 1515	※佐藤裕美子 540	※内中裕玲子 976	※山田玲子 836
※葛西敦子 430	※柴田周子 904	※中野美貴子 1110	※吉田美子 131
※笠井麻 1444	※島田和枝 694	※中野原代子 537	※米森敏子 1154
※柏木明香 1356	※菅澤麻子 61	※中野原綾子 1364	

<関東>

※青柳千春 1108	※小笠原紀代子 9	※坂本由紀江 1197	※西牧真理子 254
※芦川恵美 1099	※岡田加奈子 60	※佐久間浩美 1076	※根本高子 809
※阿部真理子 849	※岡部真由美 1396	※櫻田淳子 510	※畑中陽子 159
※荒川雅子 426	※岡山睦美 1529	※佐光恵子 586	※濱出千恵子 1200
※荒木美香子 817	※小川久貴子 1432	※猿田和美 484	※濱林三子 1383
※井美希 1107	※荻津真理子 1366	※澤村文香子 1002	※日沼千尋子 1430
※井陽介 1370	※奥野愛海 1162	※塩野優子 917	※小平岩恭子 774
※飯嶋美里 1519	※小此木久美子 1376	※穴戸洲美子 984	※平川功子 550
※飯塚あつ子 1435	※小澤美奈子 1201	※篠崎優美 1129	※平澤規子 1163
※飯塚恵美 927	※小落合賀津子 1452	※新谷敦子 1288	※廣原紀子 1105
※異儀田はづき 1441	※尾内雅子 1204	※鈴木加代子 611	※福島きよの 864
※石井浩二 270	※小尾栄子 1191	※鈴木仁子 843	※福島静恵子 1157
※石井夕貴 1350	※香川春子 1467	※鈴木友美子 1247	※福古菜摘子 1535
※石垣久美子 1016	※籠谷恵子 1196	※鈴木雅子 483	※堀田美枝子 748
※石橋裕子 1263	※門井亨子 1464	※鈴木美智子 195	※本田優子 310
※出原嘉代子 478	※加藤藤子 1379	※鈴木美由紀 1499	※松坂晃子 1534
※井手元美奈子 229	※門川由紀江 933	※鈴木美代子 581	※松英士 1438
※稻垣尚美 1229	※門田美恵子 838	※鈴木裕子 117	※松永恵子 1043
※稻垣真理 311	※金田智恵子 595	※砂村京子 1416	※松原輝子 1285
※犬飼かおり 1520	※鎌田尚子 11	※善福正夫 1072	※松原みき子 1501
※今富久美子 391	※亀崎路子 775	※善高初美 1357	※松本絵美子 1202

※	岩井逸子	1180	※	川崎憲子	1394	※	高田薫子	525	※	丸井淑美	957
※	岩崎和子	814	※	木嶋子	1527	※	高橋紀和子	1111	※	丸山美子	423
※	植田浩子	1533	※	木村喜子	1222	※	瀧澤裕子	1075	※	丸木み子	235
※	上田誠治	124	※	興津美子	1407	※	竹登喜江	99	※	三上恵美子	549
※	上原美子	623	※	工藤宣子	247	※	崎下智美子	512	※	三光子	658
※	鶴澤京子	1352	※	久保かお	532	※	竹中香名子	1369	※	三村寧美	1217
※	采原智津江	101	※	久保美穂	708	※	竹田ゆかり	634	※	森久美江	138
※	海老原真弓	1125	※	郡司久恵	468	※	嶋八千代	427	※	村純子	1208
※	江部紀美子	589	※	久保美恵	385	※	田中恵子	1489	※	川幸子	477
※	遠藤伸子	262	※	向後美和子	1403	※	田玉恵子	738	※	田中光江	129
※	遠藤真紀	1184	※	小瀬占子	587	※	田千恵子	1082	※	山光子	420
※	大大島夏里	1500	※	小林子枝	17	※	土梨沙	1445	※	湯裕子	1359
※	大大島緒人	647	※	小山也	1517	※	豊幸子	337	※	横千春	1236
※	大大谷尚子	1404	※	小近恵	1433	※	鳥洋子	492	※	吉千由	746
※	大大塚朱美	8	※	小齋み	640	※	中川子	31	※	吉丸真智	1273
※	大大塚典子	1365	※	齋齋く	705	※	中村公子	682	※	吉力真慶	145
※	大大沼久美	118	※	齋齋ふ	882	※	中村千景	576	※	吉力真慶	796
※	大大庭玲菜	711	※	齋齋真	43	※	中村美智	989	※	吉力真慶	1459
※	大大智子	702	※	齋齋理	786	※	中村道	1490	※	吉力真慶	1324
※	大大智子	1198	※	齋齋砂	648	※	中村美	590	※	吉力真慶	
※	大大智子	824	※	齋齋昭	20	※	中成美	1100	※	吉力真慶	

< 中 部 >

※	秋山志津子	585	※	笠巻純一	1417	※	高橋妙子	1443	※	井田晃美	1079
※	浅野知恵	740	※	梶多恵子	224	※	高柳泰世	1211	※	井田明美	860
※	天野利香	972	※	加藤晃子	1231	※	竹俣吉美	1393	※	松原香織	1518
※	有賀美恵	1329	※	加藤沙織	704	※	竹吉也寿	1419	※	松本康子	780
※	五十嵐利恵	923	※	加藤美智	1210	※	田勝成	684	※	松本初美	1244
※	井口美雪	1423	※	加藤永賀	1422	※	田村恭子	878	※	真岡和子	526
※	池田みず	269	※	加藤優子	743	※	丁智恵子	295	※	丸幸恵子	547
※	井澤昌	341	※	鎌浮子	862	※	塚原加寿	1287	※	丸上幸子	821
※	石崎トモイ	84	※	河田史宝	281	※	辻森美穂	955	※	水洋真佐	715
※	石田敦子	605	※	北村栄子	700	※	土川満枝	1311	※	村越真稀	172
※	石田妙美	194	※	城戸裕子	1343	※	土出ふみ	1159	※	村瀬久美	1507
※	石田陽子	709	※	城林祐子	1286	※	戸神宏美	956	※	村佳世	180
※	石原貴代	499	※	黒田美	1526	※	留日宏美	938	※	森千鶴	1238
※	伊豆麻子	889	※	強藤さとみ	1147	※	友松今日	1267	※	森千慶	90
※	伊丹元子	554	※	後藤多知	926	※	外山恵子	181	※	森康代	1398
※	市川恭平	1063	※	後藤とみ	16	※	中島節子	1290	※	森和子	1152
※	伊藤藤琴	993	※	後藤真理	900	※	中畑直美	336	※	安野潔子	1342
※	伊藤美菜	1270	※	後藤宗子	1345	※	中村朋美	34	※	安野由紀	1158
※	稲垣杏奈	1221	※	小林よ子	713	※	中村富美	688	※	矢野三子	1531
※	植垣美奈	246	※	小林陽子	70	※	南成美	1144	※	矢吹千代	1272
※	浦野早都	1390	※	小林玉美	203	※	成松久江	1199	※	山美由紀	1259
※	大野門志乃	1234	※	駒田美代	276	※	長谷川久江	1377	※	山田恭子	982
※	大城戸香織	568	※	近藤充子	789	※	長谷川由紀	1093	※	山田恭子	1148
※	大塚純子	935	※	坂井三代	1265	※	波多幸江	929	※	山田小夜	652
※	大野泰子	1041	※	坂本真理	1306	※	早川維子	1378	※	山寺智和	524
※	大原榮子	76	※	佐々木夕貴	1289	※	林典子	238	※	山本美道	603
※	岡多枝子	1054	※	佐々藤美紀	1347	※	林ひろみ	433	※	山若里	1387
※	岡田さおり	1264	※	佐藤美幸	1233	※	原蓉子	1255	※	若杉里	1305
※	岡本陽子	1227	※	佐野悦子	719	※	原真弓	298	※	若渡誓代	1354
※	小川真由	1375	※	澤田有香	865	※	深見博美	560	※	渡千津	1160
※	小奥陽子	49	※	清清水奈枝	952	※	福古伸美	326	※	渡美佐	1228
※	鬼淵理恵	959	※	下村晃子	132	※	古堀久美	1206	※	渡美佐	1269
※	大日方和枝	818	※	杉山麻美	1461	※	堀内川多	36	※	渡美佐	
※	大楠いづみ	294	※	鈴木和子	1505	※	堀本	1017	※	渡美佐	
※	大井瑞紀	1506	※	高橋佐和	1104	※	堀本	1399	※	渡美佐	

<近畿>

赤澤真旗子 1426	※加納亜紀 861	※柴田順子 1266	※林平井照子 815
※秋光惠子 1301	※唐木美喜子 1296	※下村雅昭 960	※平松美幸子 622
※浅井千恵子 1018	※川島陽子 1457	※鈴鈴秀子 1119	※平古川恵美子 961
※朝熊紗貴 1494	※菊池美奈子 832	※鈴木みちる 1509	※古川夏美子 944
※井口めぐみ 418	※北川末幾子 1136	※鈴木依子 1496	※別府夏希子 1040
※池田真代 1530	※北川和美波 383	※高田恵美子 1298	※松本珠千 1051
※磯田宏子 410	※北野村米子 717	※高田嶋長子 1091	※溝宮美枝子 1421
※市木美知子 553	※北村久美子 116	※高田立世 188	※本山世璃子 1310
※出井梨枝 444	※楠本昌子 1101	※辻角山智恵美子 851	※森脇裕美子 854
※今井住代子 1004	※久熊澤智美 1304	※中尾香織子 322	※柳園順子 1367
※上田ゆかり 1215	※古角好美 261	※中尾鳥敦子 381	※山本順子 801
※大江川尚子 481	※小島直美 408	※中田好美 1319	※山本冬子 371
※大西陽子 1498	※小米野直吉 997	※中村亜紀 996	※横山三和子 1309
※大田乃里江 102	※齋藤充子 1360	※中森あゆみ 1361	※吉田純子 374
※岡田雅樹 1308	※酒井彰子 1502	※中梨いづみ 1321	※吉田順子 1313
※岡本啓子 470	※桜井久恵 21	※西木昭能 1176	※米澤和子 1045
※岡本陽子 288	※鹿間久美子 653	※西木澄江 582	
※小原愛子 614	※篠田典枝 1293	※西幡中江恵 1149	

<中国・四国>

※阿部康子 651	加賀谷扶美世 1510	※武田和子 848	※福島夏実子 1402
※池添志乃 1389	※垣内真規子 943	※橘谷晴江子 733	※藤澤枝睦美子 736
※伊藤武彦 1460	※梶谷さとこ 919	※田村裕子 1511	※三三並村めぐる 1005
※稲田良子 641	※鎌田かおる 1431	※丹村佳子 980	※三宮由香里 331
※井上恵子 419	※上村弘子 859	※津島愛子 906	※宮崎久美子 697
※井上典子 1485	※河本妙子 835	※津上ひろ江子 1205	※宮本千香代子 1209
※井上睦美 925	※河本志知恵子 1020	※津上梨奈代 108	※森口草樹 1225
※岩見千景 1275	※貴喜田共代子 429	※寺村路保子 1424	※森口宏清 1516
※上田公子 924	※喜田保子 1374	※友難波知子 1038	※森師神裕美子 1137
※上野芳子 1251	※久保木清美 732	※西尾小和子 808	※柳谷内子 1085
※上村真生 1481	※黒郷木子 151	※西岡孝江 734	※山内愛子 747
※梅田弘子 380	※小山由美 149	※西岡孝江 571	※山田景子 1339
※岡崎由美子 928	※小白井真由美 1277	※西野万喜子 1254	※山田村保古子 1299
※岡田久子 1021	※新開美和子 884	※野々上敬子 942	※山吉文子 1080
※小川昂子 1492	※新杉山祥子 1429	※野々上敬子 983	※吉本みち子 1274
※沖西紀久子 970	※鈴竹理恵 349	※畑平奈美 1252	※吉本美智子 721
※奥智ひかる 1150		※畑平奈美 1271	※米嶋美智子 1219

<九州・沖縄>

※秋月百合 1372	木下かおり 1491	※高野さやか 677	※松田芳子 72
※東美樹 1477	※木村由紀子 950	※高代明子 414	※松葉佳子 671
※石走知子 405	※藤藤明菜 1488	※田中彩鈴 1330	※松藤恵美子 359
※伊藤亜紀 482	※倉永小百合 1044	※田中美志のぶ 1425	※松馬恵美子 360
※植木久子 1434	※香田由美 350	※長志のぶ子 308	※馬場夕江 415
※内田郁美 810	※古賀由紀子 83	※辻清子 436	※森川美奈子 1007
※江頭ひとみ 1503	※小柳康子 1022	※徳橋知子 1230	※山下優子 1256
※大江さとみ 639	※齋藤久子 1395	※滑石川あや子 1442	※山梨八重子 1008
※大野志保 922	※佐藤藤子 1508	※西川優子 899	※山米真理 1458
※大沖田直子 566	※佐藤順子 1450	※橋本幸子 608	※米和氣美紀子 1455
※梶原京子 394	※柴崎卓巳子 266	※廣富恵美子 828	
※河塚奈津子 1132	※瀬口久美子 598	※福松佳美 693	
※神田川美 1094	※曾宮涼子 1446	※松尾美枝 1439	
	※高倉実子 239	※松崎美枝 1340	

2016年度理事会議事録(要旨)

総務担当常任理事 古賀由紀子

<日本養護教諭教育学会 2016年度第3回理事会 議事録(概要)>

- 1 日 時 2016年10月7日(金) 15:00~18:00
- 2 場 所 北翔大学7号棟5階 会議室
- 3 出席者 後藤、大川、加藤、占賀、小林、斉藤、鈴木、塚原、圓岡、三木、宮本
監事:津島、佐藤 (欠席者:河田、森)
- 4 議 事
 - 1) 第2回議事録(案)の確認
 - 2) 2016年度総会の協議事項
 - ①2015年度会計監査報告
 - ②2016年度補正予算案、2017年度事業計画、2017年度の予算案
 - ③研究助成金研究に関する内規の改正
 - ④研究助成金対象研究の選定
 - ⑤選挙管理委員会委員について
北海道・東北ブロックから築地優子・入駒一美会員、関東ブロックから中下富子・中川優子会員を承認した。
 - ⑥名誉会員について
松本敬子会員、石原昌江会員を名誉会員として推薦することを承認した。
 - ⑦第26回学術集会(2018年)の開催地
近畿ブロックで開催し、津島ひろ江会員(関西福祉大学)に学会長を依頼することを承認した。
 - 3) 第24回学術集会(2016年)の運営と役割分担
 - ①学会事務局(本部)の設置
 - ②プレコングレスの開催要項
 - ③2016年度総会の運営
 - ④ワークショップの開催と理事の役割分担
 - 4) 2016年度事業の経過報告
 - ①養護教諭関係団体連絡会
 - ②各理事の担当業務及び委員会活動
「養護実践基準」については、平成29年度の提案に向けて、理事会において検討を進めること、用語の解説集の改訂については、追加・修正項目の有無をハーモニーやホームページで意見募集を行うことを承認した。

事務局より

事務局長 圓岡 和子

昨年度に引き続き事務局を担当します。どうぞよろしく願いいたします。新年度になり、勤務先等が変わった方は、至急、事務局までメールかFAXで変更届を提出してください。

また、周りの方で養護教諭の資質能力向上に興味のある方がいらっしゃいましたら、本学会へのご入会をお勧めください。

何かお気づきの点がありましたら、FAXもしくはメールでお知らせください。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

新学期がスタートしました。健康診断でお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。お身体に十分にご自愛ください。

今回の教員職員免許法の改正において、養護教諭養成カリキュラムは現行の省令で定めている科目名・単位数はそのままだなる見込みです。

近年の社会的動向を踏まえ、養護教諭の資質能力の向上を願い、次の改正時には必ず養護教諭養成に必要な科目を追加できるように準備していきたいものです。

(N. O)

